

2012年4月17日

「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」が 米国でGRAS認証を取得

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、このほど当社の「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」が、米国でGRAS物質（Generally Recognized as Safe Substances:米国において一般に安全と認められる食品）としての認証を取得しましたので、お知らせします。

今回のGRAS認証は、自己認証であり、毒性学・栄養学・分子生物学の著名な学識経験者によって厳密に審査され取得できたものです。この度の認証取得により、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」をはじめとした当社の乳製品に使用されている「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」の安全性が、米国においても高く評価されたものと言えます。

当社では、GRAS自己認証の取得に続いて、今後米国FDA（食品医薬品局）に届け出を行います。FDAからの認証を受けることが出来れば、FDAのウェブサイト等を通じて、「乳酸菌 シロタ株」の安全性が広く認知されることとなります。当社は、今後FDAからも認証を取得し、「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」の安全性への認知度を向上させ、米国はもちろん、世界各国での「ヤクルト」等の普及を加速していきます。

GRASとは、米国の食品安全に関する独自の認証制度です。GRASと認証された物質は厳格な審査により安全性が保証されている食品、または食品成分として、米国のみならず国際的に広く認められています。食品またはその原料を販売する場合には、GRASとして認証された物質であることが望ましいとされており、1997年より自己認証（Self Determined GRAS Declaration）に基づく米国FDAへの届出制（Notification）が導入されています。

当社は、国際事業を積極的に進め、現在、海外28の事業所を中心に日本を含む32の国と地域で展開しており、「ヤクルト」をはじめとした当社乳製品の一日平均販売本数は、約2,900万本（2011年12月末時点）になっています。

また、米国においては、アメリカヤクルト(株)が1999年から乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の販売をとおして、「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」の保健効果を訴求しており、販売実績は好調に推移しています。

以上